

令和7年度 事業報告

【施設目標について】

令和7年度施設目標を『職場ルールの遵守と見直し』と定め、各部署が目標達成に取り組んでまいりました。以下に各部署の本年度の結果をご報告いたします。

【特養部門】

各種業務に対する見直しを行っています。また部署長による定例会議を実施し、課題の解決に取り組んでもらいました。残っている課題もありますが、引き続き対応検討するよう指示してあります。

【居宅部門】

職員との定期的な面談を行うことで、課題の早期解決に努めることを目標にしていましたが、我々への報告が遅れたことで大きな問題に繋がる事例が発生しました。当該部署長に対しては、上へのタイムリーな報告が管理者としての務めであることを改めて伝え、再発防止に努めてまいります。

【総括】

施設として大きな成果は得られなかったと感じています。従って7年度の目標については、継続して取り組むよう年度末の面談で個別に指示しています。

【施設を取り巻く状況】

特養は現時点での利用者数は64名・6床が空いている状態です。またショートステイの稼働率にも少し落ち込みが見られており、施設系は苦戦が続いています。この状況を少しでも改善させるため、特養は空床期間の短縮、ショートステイは稼働率の維持・向上を最優先に取り組んでまいります。

一方、居宅系サービスの利用数は、令和5年度比で本部デイは11%増、バウムは45%増と大きく伸ばしてくれました。両施設とも利用者数の上限に近い数字となっていますので、今後は現状の維持～微増を目標としています。また訪問介護は8年度から職員が1名増員となりましたので、こちらも施設収益向上に貢献してくれると思います。

令和8年度は、各部署が『仕事の質を高める』を推進することで、他事業との差別化を図り、選ばれる事業者となるよう取り組んでまいります。

令和8年5月

施設長 真下和人